

プリント基板の接点スイッチの錆と汚れを除去する

2019.05.27

トミー・マック

1. 要点

ピアノやキーボードそしてあらゆる種類のおもちゃに、プリント基板の銅箔パターン電極や導電ゴム電極で構成されたスイッチが使われています。

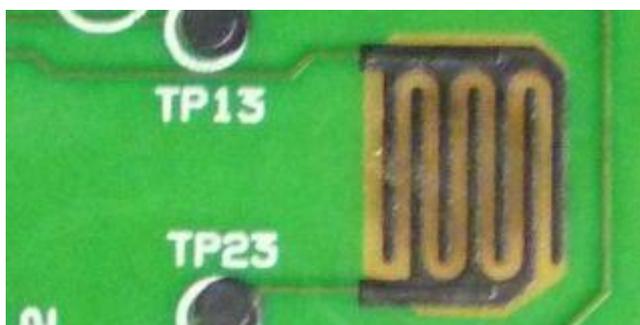
ジュースなど液体をこぼしたり、長期保存で空気に触れると銅箔表面が腐食してしまうこともあります。その結果、接触不良でボタンが利かない故障になります。

2. 方法

(1) 錆を探す

液体のこぼれによる錆や汚れは発見しやすいですが、薄っすらとした錆や汚れは発見しにくいです。ルーペなどでよく見て探します。

錆と汚れの例として、



(2) 錆と汚れの除去

(a) 錆の除去

軽い錆は、カッターで丁寧に削ります。

盛り上がった錆は、リューター®（またはルーター）の先端に小さな研磨砥石を装着し研磨します。あるいは細かい紙やすりでやすりますが、削りすぎて銅箔をなくさないようにします。

そして、ウエスにアルコールを付け表面を拭き取ります。

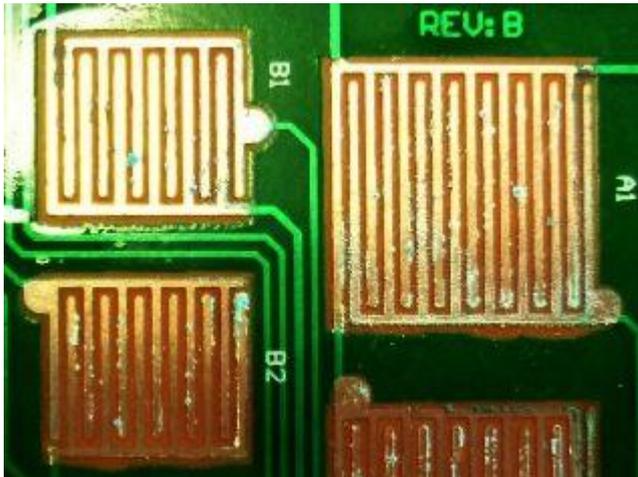
(2) 汚れの除去

利かないボタンの銅箔パターン接点の汚れを、消しゴム〔(株)トンボ鉛筆のMONO〕で研磨し（擦り）します。しかし、念のためすべての接点を研磨した方が良いです。

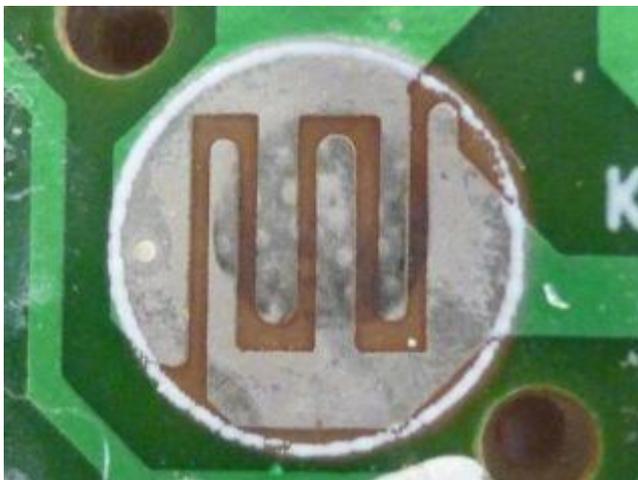
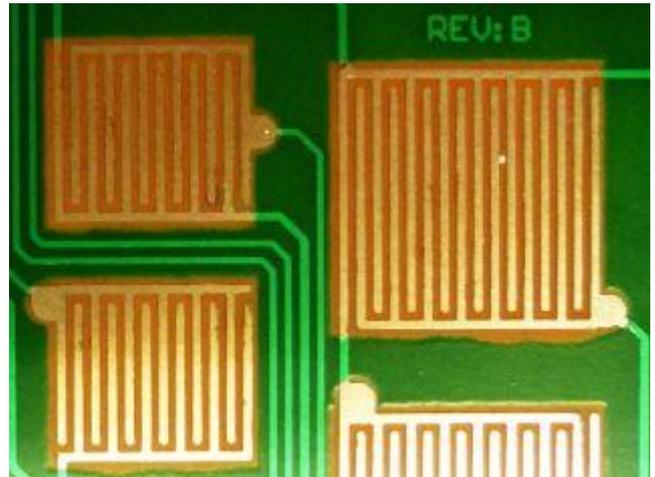


プリント基板の接点スイッチの錆と汚れを除去する

消しゴム研磨前

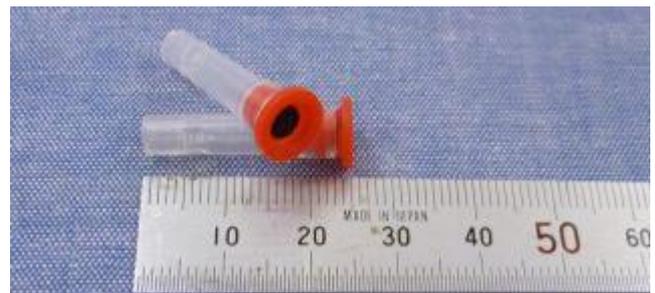


消しゴム研磨研磨後



(3) 錆と汚れ除去の確認

錆や汚れが取れたかは、ダミー導電ゴム接点を押し確認します。



終わり